

厚生労働科学研究費 補助金

免疫・アレルギー疾患政策研究事業

関節リウマチ診療におけるかかりつけ医と
専門医療機関の適切な連携の促進に関する研究

令和 7 年度 総括研究報告書

研究代表者 金子祐子

令和 8 (2026) 年 5 月

目 次

I. 総括研究報告

関節リウマチ診療におけるかかりつけ医と専門医療機関の
適切な連携の促進に関する研究

----- 1
金子祐子

II. 研究成果の刊行に関する一覧表

----- 4

III. 倫理審査等報告書の写し

----- 5

厚生労働科学研究費補助金（免疫・アレルギー疾患政策研究事業）
総括研究報告書

関節リウマチ診療におけるかかりつけ医と専門医療機関の適切な連携の促進に関する研究

研究代表者 金子 祐子 所属機関 慶應義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科 教授)

研究分担者 池田 啓 獨協医科大学リウマチ・膠原病内科・ 教授
大島 至郎 大阪南医療センター・臨床研究部 部長
酒井 良子 明治薬科大学薬学部・准教授
城田 祐子 東北医薬大血液・リウマチ科 准教授
高橋 伸典 愛知医科大学医学部・整形外科 教授
田中 榮一 東京女子医科大学医学部 准教授
田中 良哉 産業医科大学内科学講座 教授
針谷 正祥 国際医療福祉大学医学部リウマチ・膠原病内科・教授
日高 利彦 宮崎善仁会病院リウマチセンター 所長
平田信太郎 広島大学病院 リウマチ・膠原病科 教授

研究要旨

関節リウマチは慢性破壊性関節炎を主体とする自己免疫疾患で、近年の分子標的治療薬の開発や治療戦略の普及で、専門医による疾患管理は急速に進歩した。しかし、リウマチ専門医の全国的不足や地域偏在のため、診断や安定時のマネジメントを一般医が担うことも多いが、かかりつけ医と専門医の医療連携の実態や課題は不明点が多い。本研究では、専門医向け関節リウマチ診療ガイドラインに基づいた適切な連携促進に向けて、連携の実態や課題の整理、および紹介基準やかかりつけ医向けの診療基準を作成する。

研究全体の方法は、統括委員会を構成し、かかりつけ医から専門医への紹介基準およびかかりつけ医向けの診療基準の作成に向けたスコープとクリニカルクエストの作成を行い、3つの調査チームで①ナショナルデータベース(NDB)による日本全国の関節リウマチ診療の実態調査、②リウマチ専門医および一般内科・整形外科医を対象とした連携に関するアンケート調査、③研究分担者施設の関節リウマチ患者を対象とした実態調査を実施する。さらに、④患者友の会の協力を得て、患者アンケートを実施する。調査の結果を踏まえて、適切な連携の促進に向けて、連携の実態や課題の整理、および紹介基準やかかりつけ医向けの診療基準を作成する。今年度は、統括委員会の構成、リサーチクエストの作成、4つの調査に関する申請や倫理委員会承認、アンケート印刷や発送等の準備を実施した。

NDBデータの現時点での結果からは、関節リウマチ患者数の増加が示唆された。高齢発症患者の増加や積極的な抗リウマチ薬使用による予後改善の結果の可能性はある。関節リウマチ治療薬の処方割合は、都道府県によってばらつきがあり、専門施設の地域偏在の可能性はある。アンカードラッグであるメトトレキサートの処方割合は専門施設と非専門施設でほぼ同等であり、標準治療戦略は全国的に普及が拡大している可能性がある。その他の調査については、現在データを収集中である。

今後かかりつけ医と専門医の医療連携はさらに重要度が増すと考えられる。引き続き調査を実施し、結果をもとに専門医向け関節リウマチ診療ガイドラインに基づいた適切な連携促進に向けて、連携の実態や課題の整理、および紹介基準やかかりつけ医向けの診療基準を作成する。

A.研究目的

関節リウマチは慢性破壊性関節炎を主体とする自己免疫疾患で、近年の分子標的治療薬の開発や治療戦略の普及で、専門医による疾患管理は急速に進歩した。しかし、リウマチ専門医の全国的不足や地域偏在のため、診断や安定時のマネジメントを一般医が担うことも多いが、かかりつけ医と専門医の医療連携の実態や香大は不明点が多い。本研究では、専門医向け関節リウマチ診療ガイドラインに基づいた適切な連携促進に向けて、連携の実

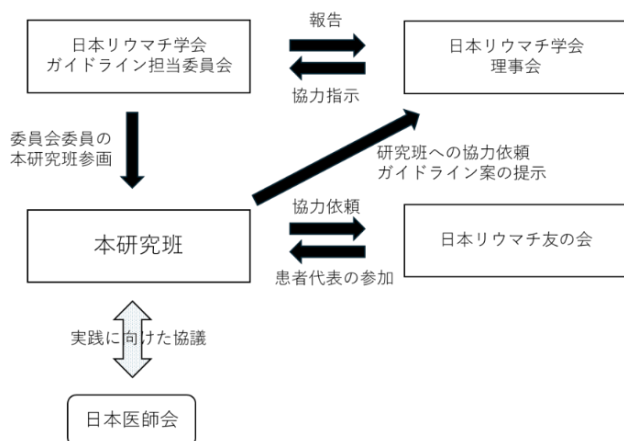
態や課題の整理、および紹介基準やかかりつけ医向けの診療基準を作成する。

B.研究方法

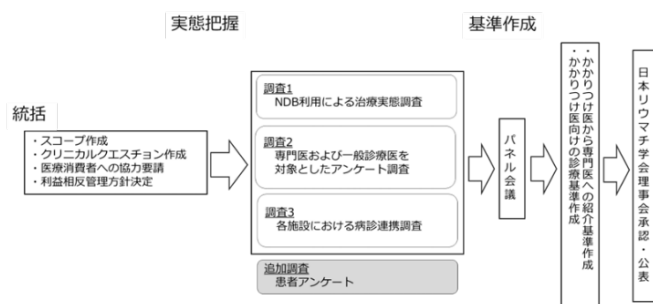
研究全体：統括委員会を構成し、かかりつけ医から専門医への紹介基準およびかかりつけ医向けの診療基準の作成に向けたスコープとクリニカルクエストの作成を行い、3つの調査チームで①ナショナルデータベース(NDB)による日本全国の関節リウマチ診療の実態調査、②リウマチ専門医および一

般内科・整形外科医を対象とした連携に関するアンケート調査、③研究分担者施設の関節リウマチ患者を対象とした実態調査を実施する。さらに、④患者友の会の協力を得て、患者アンケートを実施する。調査の結果を踏まえて、適切な連携の促進に向けて、連携の実態や課題の整理、および紹介基準やかかりつけ医向けの診療基準を作成する。

研究体制



基準作成の手順



これらの調査結果を踏まえて、実態把握および課題を整理し、地域の実情に配慮したかかりつけ医から専門医への紹介基準および併存症・合併症への注意点等を考慮したかかりつけ医向けの診療基準を作成する。

今年度：統括委員会の構成、リサーチクエスチョンの作成、4つの調査の準備と開始を行った。

（倫理面への配慮）

②③④の調査は、チームリーダーの施設の倫理委員会で、多機関共同観察研究の一括承認を得た上で実施している。

C. 研究結果

1. 統括委員会

統括委員会を設置し、調査の進め方、クリニカルクエスチョン案をリスト化した。

2. NDMによる日本全国の関節リウマチ診療の実態調査（調査①）は、NDBへの新規申請ではデータ収集

が研究終了までに間に合わない可能性を踏まえ、先行する厚生労働省研究「介護・福祉・在宅医療現場における関節リウマチ患者支援に関する研究」で入手したNDBデータを変更申請によりデータの共有および追加データ入手をすることとした。現在データの解析中であるが、関節リウマチ患者数が2017年と比較して10万人以上増加したことが示唆されている。関節リウマチ治療薬の処方割合は、都道府県によってばらつきがあるが、アンカードラッグであるメトトレキサートの処方割合は専門施設と非専門施設でほぼ同等であった。

3. リウマチ専門医および一般内科・整形外科医を対象とした連携に関するアンケート調査（調査②）は、愛知医科大学倫理委員会での調査承認を得て、日本リウマチ学会、日本整形外科学会、日本プライマリ・ケア連合学会、自治医科大学卒業生のメーリングリストを通じて、調査回答を依頼した。かかりつけ医約220件、専門医約700件の回答が収集され、現在収集継続およびデータの解析中である。

4. 研究分担者施設の関節リウマチ患者を対象とした実態調査（調査③）は、慶應義塾大学医学部倫理委員会の調査承認および各施設での実施許可を経て、データを回収している。かかりつけ医からの紹介で関節リウマチと診断された患者を対象に、症状から受診までの期間、診断までの期間、初期治療等についてデータを収集中であるが、1500名程度の患者の情報が収集できる見込みである。

5. 患者友の会の協力による患者アンケート（調査④）は、慶應義塾大学医学部倫理委員会の調査承認を経て、現在患者友の会会員から無作為に抽出した500名にアンケートを送付し、回答を回収中である。関節リウマチの診断や初期治療、安定期治療における、かかりつけ医と専門医の連携に関する患者の意見を収集予定である。

D. 考察

NDBデータの結果からは、関節リウマチ患者数の増加が示唆された。高齢発症患者の増加や積極的な抗リウマチ薬使用による予後改善の結果の可能性がある。関節リウマチ治療薬の処方割合は、都道府県によってばらつきがあり、専門施設の地域偏在の可能性もある。アンカードラッグであるメトトレキサートの処方割合は専門施設と非専門施設でほぼ同等であり、標準治療戦略は全国的に普及が拡大している可能性がある。その他の調査については、現在データを収集中である。

E. 結論

関節リウマチ患者の増加や専門医療機関の偏在の可能性が示唆され、今後かかりつけ医と専門医の医療連携はさらに重要度が増すと考えられる。引き続き調査を実施し、結果をもとに専門医向け関節リウマチ診療ガイドラインに基づいた適切な連携

促進に向けて、連携の実態や課題の整理、および紹介基準やかかりつけ医向けの診療基準を作成する。

F.健康危険情報

なし

G.研究発表

1.論文発表

なし

2.学会発表

なし

H.知的財産権の出願・登録状況

1.特許取得

なし

2.実用新案登録

なし

3.その他

なし

研究成果の刊行に関する一覧表

【書籍】

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ

【雑誌】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年

学会発表

- 1.
- 2.
- 3.

厚生労働大臣 殿

機関名 慶應義塾大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 伊藤 公平

次の職員の令和 7 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 免疫・アレルギー疾患政策研究事業
2. 研究課題名 関節リウマチ診療におけるかかりつけ医と専門医療機関の適切な連携の促進に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部・教授
(氏名・フリガナ) 金子祐子・カネコ ユウコ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	☒ ☐	☒	慶應義塾大学医学部	☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐ ☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐ ☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	☐ ☒	☐		☐

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

国立保健医療科学院長 殿

機関名 獨協医科大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 吉田 謙一郎

次の職員の令和7年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 免疫・アレルギー疾患政策研究事業
2. 研究課題名 関節リウマチ診療におけるかかりつけ医と専門医療機関の適切な連携の促進に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) リウマチ・膠原病内科・教授
- (氏名・フリガナ) 池田 啓・イケダ ケイ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	☒ ☐	☒	慶應義塾大学倫理委員会	☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐ ☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐ ☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	☐ ☒	☐		☐

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。
(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する口にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 独立行政法人国立病院機構
大阪南医療センター

所属研究機関長 職 名 院長

氏 名 小田 剛紀

次の職員の（元号） 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 免疫・アレルギー疾患政策研究事業

2. 研究課題名 関節リウマチ診療におけるかかりつけ医と専門医療機関の適切な連携の促進に関する研究

3. 研究者名 （所属部署・職名） 臨床研究部長・免疫疾患センター部長

（氏名・フリガナ） 大島 至郎 （オオシマ シロウ）

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	☐	☒	☐		☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐	☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐	☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称： ）	☐	☒	☐		☐

（※1） 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2） 未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3） 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合は委託先機関： ）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ （有の場合はその内容： ）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 明治薬科大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 越前 宏俊

次の職員の（元号） 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 免疫・アレルギー疾患政策研究事業
2. 研究課題名 関節リウマチ診療におけるかかりつけ医と専門医療機関の適切な連携の促進に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 薬学部・准教授
- (氏名・フリガナ) 酒井良子 (サカイリョウコ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	☒	☐	☒	明治薬科大学	☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐	☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐	☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	☐	☒	☐		☐

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。
(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長)~~ 殿
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 東北医科薬科大学
所属研究機関長 職 名 学長
氏 名 大野 勲

次の職員の（元号） 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 免疫・アレルギー疾患政策研究事業
2. 研究課題名 関節リウマチ診療におけるかかりつけ医と専門医療機関の病診連携に関する観察研究
3. 研究者名 （所属部署・職名） 血液・リウマチ科 准教授
（氏名・フリガナ） 城田 祐子（シロタ ユウコ）

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	☒ ☐	☒	東北医科薬科大学	☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐ ☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐ ☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称： ）	☐ ☒	☐		☐

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合は委託先機関： ）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ （有の場合はその内容： ）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 愛知医科大学
所属研究機関長 職 名 学長
氏 名 祖父江 元

次の職員の令和 7 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 免疫・アレルギー疾患政策研究事業
2. 研究課題名 関節リウマチ診療におけるかかりつけ医と専門医療機関の適切な連携の促進に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 愛知医科大学整形外科学講座 ・ 教授
(氏名・フリガナ) 高橋 伸典 ・ タカハシ ノブノリ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	☒ ☐	☒	慶應義塾大学	☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐ ☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐ ☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	☐ ☒	☐		☐

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。
(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 東京女子医科大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 三谷 昌平

次の職員の令和7年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 免疫・アレルギー疾患政策研究事業

2. 研究課題名 関節リウマチ診療におけるかかりつけ医と専門医療機関の適切な連携の促進に関する研究

3. 研究者名 (所属部局・職名) 医学部 ・ 准教授

(氏名・フリガナ) 田中 榮一 ・ タナカ エイイチ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	■	□	■	東京女子医科大学	□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	■	□	■	慶應義塾大学医学部倫理委員会	□

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。
(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■ 未受講 □
-------------	------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ■ 無 □（無の場合はその理由： ）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ■ 無 □（無の場合は委託先機関： ）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ■ 無 □（無の場合はその理由： ）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 □ 無 ■（有の場合はその内容： ）

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

国立保健医療科学院長 殿

機関名 産業医科大学
所属研究機関長 職 名 学長
氏 名 上田 陽一

次の職員の令和 7 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 免疫・アレルギー疾患政策研究事業
2. 研究課題名 関節リウマチ診療におけるかかりつけ医と専門医療機関の適切な連携の促進に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部・特別教授
(氏名・フリガナ) 田中 良哉・タナカ ヨシヤ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	☒ ☐	☒	産業医科大学	☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐ ☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐ ☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	☐ ☒	☐		☐

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。
(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 国際医療福祉大学
所属研究機関長 職 名 学長
氏 名 鈴木 康裕

次の職員の 令和 7 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 厚労省科研費免疫・アレルギー疾患政策研究事業
2. 研究課題名 関節リウマチ診療におけるかかりつけ医と専門医療機関の適切な連携の促進に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部膠原病リウマチ内科・教授
(氏名・フリガナ) 針谷正祥・ハリガイマサヨシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	☒	☐	☒	慶応義塾大学	☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐	☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐	☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	☐	☒	☐		☐

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。
(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長)~~ 殿
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 国立大学法人広島大学
所属研究機関長 職 名 学長
氏 名 越智 光夫

次の職員の令和7年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 免疫・アレルギー疾患政策研究事業
2. 研究課題名 関節リウマチ診療におけるかかりつけ医と専門医療機関の適切な連携の促進に関する研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 病院 リウマチ膠原病科・教授
(氏名・フリガナ) 平田 信太郎 (ヒラタ シンタロウ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	☐	☒	☐		☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐	☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐	☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	☐	☒	☐		☐

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。
(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 宮崎善仁会病院

所属研究機関長 職 名 院長

氏 名 森山 裕一

次の職員の 2025 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 厚生労働省免疫・アレルギー疾患政策研究事業
2. 研究課題名 関節リウマチ診療におけるかかりつけ医と専門医療機関の病診連携に関する観察研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) リウマチセンター長
- (氏名・フリガナ) 日高 利彦 (ヒダカ トシヒコ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	☐	☒	☐		☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐	☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐	☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	☐	☒	☐		☐

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。
(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。